

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

CREATE VALUE FOR PEOPLE AND SOCIETIES.

保険を、人と社会のために。



サステナビリティレポート 2020

[ダイジェスト編]

共有価値の創造を通じ、 社会とともに成長する 企業グループをめざして

株式会社T&Dホールディングス代表取締役社長
上原 弘久



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により 顕在化した世界の課題

2020年は新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、人類社会全体に甚大な影響が生じており、未だその収束への見通しも立たない状態となっています。このような大きな危機に対処し人類社会が発展を続けるためには、世界全体が協力して社会的課題を解決し、よりレジリエントでサステナブルな社会を構築することが重要であることを、多くの人が実感したと思います。

その実現のために、社会から求められる進化した商品・サービスを提供し、それぞれの事業活動を通じてSDGsの達成に貢献していく必要があります。

共有価値の創造／SDGsへの貢献

T&D保険グループは、2019年度を始期とする中期経営計画「Try & Discover 2021 共有価値の創造」に取り組んでいます。この中期経営計画では「コアビジネスの強化」と「事業ポートフォリオの多様化」を通じ、「絶えず変化する人と社会の課題の解決に貢献することで、社会とともに成長する保険グループをめざす」ことを、全体方針として掲げています。

この中期経営計画の策定に際し、私自身が委員長を務めるグループSDGs委員会において、4つのサステナビリティ重点テーマを選定しました。

社会的課題の解決に貢献しサステナブルな社会を実現すること、社会に価値を創造することで当社グループも持続的に成長していくことを方針とし、日々の事業に取り組んでいます。

世界と共有する思い

新型コロナウイルス感染症のほかにも、気候変動に起因する大型台風や集中豪雨などの自然災害の頻発など、多くの社会的課題があることは世界が共有する認識でしょう。

当社グループは、国連グローバル・コンパクト、責任投資原則、気候関連財務情報開示タスクフォースに賛同し、サステナブルな世界の実現に貢献する取り組みを進めています。

人権の尊重に関しては、グループCSR憲章において、従業員の人格と多様性の尊重、健康で安全に働ける環境づくりへの取り組みを進めており、2020年7月には、当社グループの人権尊重の考え方について表明する「T&D保険グループ人権方針」を制定しました。

T&D保険グループの果たすべき 責任とサステナビリティ

当社グループは生命保険事業をコアビジネスとしています。当社グループは事業活動を通じて社会に貢献する責任を有しており、自身のサステナビリティを高め、安定的な成長を続けることが必要と認識しています。ビフォーコロナへの回帰ではなく、SDGsの達成された世界に向け主体的に行動していくことが、新たなビジネスチャンスになります。私たちT&D保険グループは、常に社会と価値を共有し、社会とともに持続的に成長する保険グループであることを目指し、これからも一步一步、その歩みを続けていきます。



目指すグループ像

T&D保険グループ経営理念

Try&Discover (挑戦と発見) による価値の創造を通じて、
人と社会に貢献するグループを目指します。

グループ経営理念の実践を通じて、グループの持続的成長を確かなものへ

共有価値の 創造

- 絶えず変化する人と社会の課題(社会的課題)は、当社グループにとっては挑戦すべきビジネスチャンス
- 社会的課題の解決という視点から、事業を通じて、社会にとっての価値と企業にとっての価値の両方を創造

中長期に成長できる企業

- 事業を通じ社会の発展に貢献し、その事業を通じて適正な利益を上げる
- 社会と経済に価値を産み出す企業

T&D保険グループの目指す姿

- 社会と価値を共有し、持続的に成長する保険グループ

すべての人の健康で豊かな暮らしの実現

基本的な考え方

生命保険業を事業の中心に置くT&D保険グループにとって、すべての人の健康で豊かな暮らしの実現への貢献は、最も基本的な社会的責任です。社会の変化により生じるお客さまのリスクの解決に寄与する商品・サービスの提供は、私たちにとって使命であり、成長の機会です。

太陽生命の取組み

時代の変化を先取りした商品開発

太陽生命は、シニアのお客さまにより大きな安心をお届けするために、高品質の商品・サービスの提供に取り組んでいます。認知症になった場合の保障だけでなく、認知症にならないための「予防」の段階からお客さまをサポートする保険商品「ひまわり認知症予防保険」はシニアのお客さまを中心に広くご支持をいただいています。



新たな販売チャネルの創設【スマ保険の開始】

2019年10月よりインターネットで保険申込みできる「スマ保険」を開始しています。「スマ保険」では、お客さまの自由な時間と場所でできるインターネットによる保険の見積りや申込みと、培ってきた「人」による丁寧なサービスを融合することで、アフターフォローの充実したインターネット完結型保険という、今までにない新たな保険の提供を行っています。



大同生命の取組み

HALFITサービスの開始

大同生命は、中小企業とそこに働く人々が活き活きと活躍できる社会づくりへの貢献と、高齢化社会が抱える課題解決への貢献を目指しています。



©サイバーダイン(株)提供

CYBERDYNE株式会社の装着型サイボーグ「HAL®」を用いた脳神経・筋系の機能向上を促す運動プログラム「Neuro HALFIT」を利用できるサービスを、2020年4月より提供しています。

外国人従業員の取扱を拡大

外国人労働者のさらなる増加により、保険加入ニーズも高まると予想されることから、2019年6月より、日本語の理解が困難な外国人従業員（被保険者）の方の取扱を開始しました。「外国語によるご説明資料の作成」「多言語による通訳窓口の設置」などの態勢を整備することにより、外国人従業員の方に、福利厚生のための生命保険に外国語で申込手続きいただくことが可能となりました。

「外国人従業員契約の取扱」推進に向けて ～営業担当者の想い～



訪問先の外国人従業員をよくお見かけしており、日本語が理解できないために保険に加入いただけないことを残念に思っていました。

外国人従業員の取扱拡大について、社長さまにお伝えしたところ「当社の優秀な外国人をすぐに加入させたい」とのお言葉をいただきました。

お客さまのニーズにお応えできてうれしく思ったことに加え、これからも、国籍を問わず多くのお客さまに安心をお届けしたいとの想いが強まりました。

大阪北支社梅田第二営業所
南 智博さん



T&Dフィナンシャル生命の取組み

多様化するお客さまニーズに応える商品

T&Dフィナンシャル生命では、銀行等の金融機関や来店型の保険ショップを通じて、多様化するお客さまニーズに応えるため、商品ラインアップを拡充し、タイムリーに保険商品を提供しています。

2019年7月には、一時払終身保険「生涯プレミアムワールド5」を発売しました。本商品は、「ご自身でつかうお金」と「ご家族にのこすお金」を準備できる「生涯プレミアムワールド」シリーズのリニューアル版です。為替手数料のご負担なくご加入いただけるといった特徴を前身商品から受け継ぎつつ、これまでご負担いただいていた初期費用を不要としたほか、一定期間、一時払保険料と同額の死亡保険金を円で最低保証する機能を追加するなど、より幅広いお客さまのニーズに応えられるよう商品内容を改定しました。

また、2019年10月には、一時払個人年金保険「ファイブテン・ワールド2」、2020年2月には、一時払個人年金保険「長寿プレミアム2」を発売しました。



お客さまサービス向上に向けた取組み

T&Dフィナンシャル生命では、お客さま満足度のさらなる向上のため、さまざまな取組みを検討し、推進しています。2019年7月には、エムスリー株式会社が提供する医療サポートサービス「M3 Patient Support Program」の提供を開始しました。スマートフォンやパソコンから、24時間365日医師に相談可能なサービス「Ask Doctors」等、4つの医療サポートサービスを包括的に提供しています。

T&Dアセットマネジメントの取組み

投資を通じた健康社会促進への貢献

T&Dアセットマネジメントの日本株式アクティブ運用では、お客さまからお預かりした資産の長期的な成長に貢献するため、財務情報に加え、非財務情報の分析を重視しています。「日本株式ESGリサーチファンド」や「健康関連社会貢献株式ファンド」では、人々の健康増進に貢献する多くの企業への積極的な投資を通じ、「健康を維持し、高齢者を支える」という社会課題の解決に貢献しています。



ペット&ファミリー損害保険の取組み

大切な家族のために

ペット医療およびその費用への関心がますます高まるなか、ペット&ファミリー損害保険では、飼い主さまとペットが安心して治療を受けることができるよう、ペットの治療にかかった費用の一定割合を補償する商品「げんきナンバーワン」「げんきナンバーワンスリム」を提供しています。

また、ホームページ掲載のコンテンツ「Pet News Storage」では、ペットライフを充実させるための情報を定期的に発信しています。



すべての人が活躍できる働く場づくり

基本的な考え方

T&D保険グループは、人権の保護を尊重し、健康で安全に働ける職場づくりを進めることは持続可能な社会の実現に必要であるとともに企業の活性化に向けた機会であると考え、さまざまな取組みを進めています。

人材育成の取組み

生命保険会社3社では、「OJT(実際の仕事を通じた教育)」「集合研修」「自己啓発支援」を柱とした教育研修を実施しています。資格取得に対する積極的なサポートや、通信教育、e-ラーニングなど多様なカリキュラムの提供により、従業員一人ひとりの自律的なキャリアアップを支援しています。

また、従業員がさまざまな業務経験を積むことにより、全社的な広い視野で業務を遂行する能力を高められるよう、計画的な異動(ローテーション)を実施しています。

●海外企業派遣・海外MBA

太陽生命

今後の海外事業戦略を見据え、複数の海外企業に若手職員を3ヵ月程度派遣するほか、高度な資産運用知識を身につけるため、海外の運用会社にも複数名を派遣しています。

大同生命

多様な経験を通じたグローバルな人材の育成を目的に、海外企業インターンシップや海外MBA留学を、公募形式のチャレンジキャリア制度として実施しています。

●チャレンジナビ

大同生命

人材育成に関する社内ポータルサイト「Challenge Navi」において、従業員のプロフィールを全社に開示し、個々のキャリアを「見える化」とするとともに、他部門の職員等にキャリア相談を行う仕組みを提供しています。この取組みが評価され、グッドキャリア企業アワード2017大賞(厚生労働大臣賞)を受賞しました。

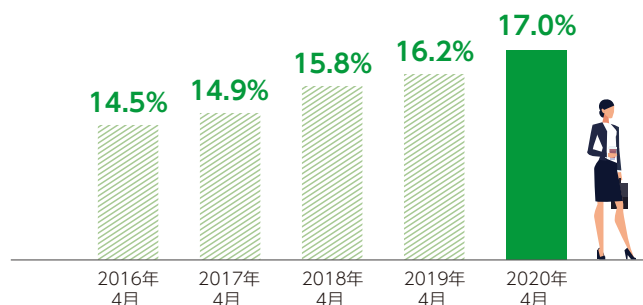
2020年度より、従業員一人ひとりが「なりたい姿」を描き、キャリアプランを作成するとともに、その実現に向けて主体的に自己開発に取り組むための「D-キャリア・プロジェクト」を開始しました。会社・上司は、従業員の「なりたい姿」の実現に向けた挑戦を支援しています。

女性の活躍を支援する取組み

女性が従業員の多数を占めるT&D保険グループにとって、女性のさらなる能力発揮は持続的な企業価値向上の源泉であり、女性活躍はグループの重要な経営課題です。この認識のもと、生命保険会社3社では人事・処遇制度を改定するとともに、各種の両立支援制度を導入しています。

また、グループ協働で総労働時間の縮減や男性の育児休業取得の促進に取り組み、誰もが働きがいを持って活躍できる職場づくりを進めています。

女性管理職比率の推移(生命保険会社3社合計)



太陽生命

2017年4月に登用した初の女性執行役員を2018年6月に取締役役に任用しました。

また、管理職候補者の育成については、職種や性別によらず、全国の中堅職員に集合研修等を通じてマネジメントスキルを付与するなど、計画的に取り組んでいます。

大同生命

キャリア意識の向上や、各種支援施策による働きやすい環境の整備等により、キャリア形成を支援しています。また、部長・支社長候補者の育成に向けた複数年にわたる選抜研修を実施しています。2018年4月に初の女性執行役員を任用しました。

T&Dフィナンシャル生命

女性従業員が目指すべきリーダー像を描き、その実現のために必要とされるスキルを習得するため、「周囲とのコミュニケーション」「リーダーシップの発揮」「部下・後輩の指導育成」などをテーマとした集合研修を定期的実施しています。



ワーク・ライフ・バランスへの取組み

T&D保険グループ各社では、従業員が家事や育児、介護などの家庭の責任を果たしながら仕事で十分に能力を発揮するために、育児休業などの制度の充実や総労働時間の縮減など、さまざまな取組みを強化しています。また、女性活躍を推進するうえで、女性がライフイベントを経験しながら長く働き続けられる職場づくりは欠かせないものと考えています。その一環として生命保険会社3社では男性の育児参加を奨励し、男性の育児休業取得率が100%となるなど、グループ一体となってワーク・ライフ・バランスの実現を推進しています。

生命保険会社3社の出産・育児・介護休業の取得状況(2019年度)



※生命保険会社3社内務職員の有給休暇の取得状況です。

LGBTフレンドリー

【グループの仲間】

T&D保険グループでは、グループ人権方針において人権尊重の基本的考え方を表明し、従業員一人ひとりが自己の能力を十分に発揮できる職場環境の整備に努めています。LGBT(性的マイノリティ)に関しても、ダイバーシティ(多様性の尊重)の観点より、研修の実施や相談窓口の設置等の取組みを進めています。

また、2016年12月から2017年1月にかけて、役員・部長、管理職約1,700名を対象としたLGBTに関するセミナーをグループ合同で開催し、企業としてLGBTに取り組む重要性について理解を深めました。

【お客さまに】

当社グループの生命保険会社3社は、ご契約者さまが同性のパートナーの方を受取人として希望される場合、地方自治体が発行するパートナーシップ証明書等をご提出いただくことで、配偶者さまと同様に保険金受取人に指定していただける取扱いを開始しています。

大同生命

新契約・支払・変更等の各手続きにおいて、同居の同性パートナーを配偶者と同様に扱う対応を拡大しています。

対応	時期
死亡保険金等の各種受取人として指定可能	2015年11月
ご家族登録制度のご登録者として指定可能	
新契約・支払等の各手続きで自署が困難な場合に代筆可能	2016年12月
指定代理請求人として指定可能	2018年4月



気候変動の緩和と適応への貢献

基本的な考え方

T&D保険グループは「T&D保険グループ環境方針※」を制定し、企業活動に際して、地球環境の保護に配慮して行動することを役職員へ周知徹底しています。また、地球規模の気候変動は、当社グループの事業活動にとって事業継続のリスクであると同時に、新しい活動の機会でもありと考えます。

※「T&D保険グループ環境方針」は <https://www.td-holdings.co.jp/csr/csr-policy/environment.html> に掲載しています。

環境への取組み

●CO₂排出量の削減

T&D保険グループのCO₂排出量は、その90%以上が電力使用に由来しており、電力使用量の目標を設定し、エネルギー使用量およびCO₂排出量の削減に努めています。

●業務のペーパーレス化の推進

東京日本橋本社では、モバイルPCの配付、無線LANの配備、ディスプレイの設置など、効率的・効果的なオフィス環境を整備し、取締役会、経営執行会議等の各種会議や部内でのミーティング等は、原則ペーパーレスで実施しています。

環境教育・啓発

T&Dホールディングスでは、UNEP（国連環境計画）機関誌の日本語版を制作している一般社団法人日本UNEP協会の活動に協賛しています。本誌はT&D保険グループ各社のほか、地方の小学校・中学校・高校、公共図書館などに広く配布され、環境意識啓発に役立てられています。



森林保全活動

生命保険のパンフレット・約款等、業務上さまざまな紙を使用する生命保険会社として、森林資源の還元と緑化保全を目的に、栃木県と滋賀県に「太陽生命の森林」を設置し、森林保全活動を進めています。

太陽生命の森林

2019年5月に公益財団法人日本ダウン症協会のご家族をお招きして「森林教室」を実施したほか、11月には間伐や散策道整備などの森林整備活動を実施しました（年間延べ参加者数142名）。



DATA

栃木県那須塩原市
設立：2006年3月
面積：約4.8ha
CO₂吸収量：19t
（林野庁評価）

太陽生命くつぎの森林

2019年4月、12月に林道整備やアカマツ林の落ち葉掻きなどの森林整備活動を実施したほか、2019年10月、12月には地元小学生がどんぐりから苗木を育て、卒業時に植樹を行う「どんぐりプロジェクト」を実施しました（年間延べ参加者数242名）。



DATA

滋賀県高島市
設立：2007年11月
面積：約12.7ha
CO₂吸収量：81t
（高島市評価）

TCFDに基づく気候関連財務情報の開示

2017年、世界の金融システムの安定を目的とする「金融安定理事会(FSB)」によって設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」は、気候変動がもたらす事業のリスクと機会をわかりやすく開示する提言を公表しました。気候変動は地球規模の課題であり、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼします。T&D保険グループはTCFDの提言に賛同し、気候変動が事業に及ぼす影響の開示に積極的に取り組んでいきます。

ガバナンス

【取締役会による監視】

- 取締役会は、グループSDGs委員会を取締役会の下部機関として設置しています。
- グループSDGs委員会は、取締役会議長である代表取締役社長が委員長を務め、グループ各社のサステナビリティ・CSR担当部門および運用部門の担当役員、部長を構成員としています。
- 気候変動リスク対応専門部会をグループSDGs委員会の下部機関として設置しています。当部会は、気候変動リスクの状況と必要な対応を調査・検討し、SDGs委員会の気候変動に関連する方針の策定や取組検討を支援しています。

【経営の役割】

- グループSDGs委員会で審議される地球環境や社会的課題に関する基本方針と取組施策の内容はすべて経営執行会議に報告され、審議結果は取締役会に報告されます。

戦略

- 気候変動に起因する当社グループ事業への影響について、「2℃シナリオ」「4℃シナリオ」をベースに分析しました。

物理的リスク	●平均気温の上昇により、熱ストレスによる死亡者数や熱中症搬送者数が増加(4℃シナリオにおいてより大きく増加)。保険料率の適切な見直しにより対処。 ●自然災害の激甚化を想定(特に4℃シナリオ)。業務継続計画(BCP)の適切な見直しにより対処。
移行リスク	●規制の強化や新規技術への入れ替え等により、多くの企業の事業に大きな(プラス・マイナス両方の)影響が生じる(特に2℃シナリオ)。当社グループの投融資先への影響に起因する資産運用収益の毀損を回避するため、適切な投融資活動の推進や既存投資先との対話を適宜実施し対処。

(注) ●2℃シナリオ：厳しい温暖化対策を取った場合。工業化以前と比べた平均気温の上昇を2℃未満に抑制。
 ●4℃シナリオ：現状以上の温暖化対策を取らなかった場合。平均気温の上昇は4℃前後に到達。
 ●物理的リスク：台風や洪水など異常気象による自然災害や、平均気温上昇や海面上昇などに起因する事業上のリスク。
 ●移行リスク：低炭素・脱炭素社会に移行するための、行政・企業・消費者の行動に起因する事業上のリスク。

リスク管理

【リスクの特定・評価プロセス】

- 当社グループでは、気候変動関連リスクを管理すべき重要なリスクとしてリスクプロファイルに登録し、リスクの洗い出しとリスクの把握・評価を行っています。

【リスクの管理プロセス】

- リスクの発生や既に認識しているリスクの変更を的確に認識・把握するため、年2回リスクプロファイルの見直しを行い、グループリスク統括委員会および取締役会に報告しています。
- 当社グループは、統合的リスク管理の取組みのためERM(Enterprise Risk Management)により、資本・収益・リスクを一体的に管理しています。

指標と目標

- グループとしての目標は、「電力使用量の削減」「事務用紙使用量の削減」「グリーン購入比率の向上」の3つです。その成果は半年ごとに計測し、各種レポート・ホームページ上で開示しています。
- 電力使用量の削減目標は、2008年度および2013年度からの5ヵ年目標を達成し、2018年度からは新しく定めた10ヵ年目標の実現に取り組んでいます。
- 事務用紙使用量削減目標は、2014年度からの5ヵ年目標を達成し、2019年度からの新しい5ヵ年目標に取り組んでいます。
- CO₂排出量は、SCOPE 1(自社の直接排出)/SCOPE 2(電力など購入するエネルギーなどの間接排出)/SCOPE 3(原料調達、輸送、廃棄などその他の間接排出)を継続して測定・開示しています。



投資を通じた持続可能な社会への貢献

基本的な考え方

機関投資家でもある当社グループにとって、投資を通じて持続可能な社会の実現に貢献することは、最も基本的な役割の一つと考えています。当社グループは、機関投資家の投資行動が持続可能な世界の実現の取組みに及ぼす影響を重視し、環境、社会、企業統治に配慮した投資を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献します。



責任投資原則 (PRI) への署名

太陽生命、大同生命、T&Dアセットマネジメントの3社は、国連が支援する責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment) ※に署名し、環境・社会・企業統治の課題を考慮した投融資に取り組んでいます。

Signatory of:



※責任投資原則 (PRI) は、2006年に国連事務総長であったコフィー・アナン氏が世界の金融業界に対して提唱した行動規範です。なお、同原則には、世界で3,200超、日本では83の金融機関等が署名しています (2020年7月現在)。

T&D保険グループの石炭火力発電事業への投融資姿勢

石炭火力発電事業等の化石燃料関連事業は、気候変動や大気汚染などの環境問題に重大な影響を与える要因の一つであり、同分野への機関投資家の投融資姿勢がこれまで以上に重要と認識しています。

当社グループは、石炭火力発電事業への投融資については、新規の投融資を実施しない方針としています。ただし、環境負荷の低減につながる新技術の開発や実用化などの案件については、投融資の検討対象とする可能性があります。



ESG 投融資の取組事例

太陽生命、大同生命、T&Dアセットマネジメントでは、次のようなESG投融資の取組みを行っています。

「北海道内7空港特定運営事業等」に対するプロジェクトファイナンスへの参画

従来、別々の主体により運営されていた北海道内7空港の空港運営を一体的に実施する事業への協調融資に参画しました。本融資は、基幹交通インフラとしての役割の最大限の発揮と、北海道のさらなる振興・発展に貢献する取組みです。



持続可能な社会形成に貢献する企業への投資

ESGリサーチに基づいた銘柄選択によりESGに優れた企業に選別投資する「T&D日本株式ESGリサーチファンド」に太陽生命、大同生命が投資しています。同ファンドはT&Dアセットマネジメントが設定、運営しています (2015年7月より運用開始)。



太陽生命

全国一斉グリーンキャンペーン

太陽生命は、地域社会に対する貢献活動として、本社周辺および全国の支社周辺地域の清掃活動を実施しています。2019年度は、全国で6,779名(従業員の家族を含む)が清掃活動に参加しました。



大同生命

大同生命サーベイ

2015年10月より、中小企業の景況感や経営課題の取組みを調査する「大同生命サーベイ」を毎月実施しています。営業担当者が全国約10,000社の中小企業を訪問して経営者の“生の声”を聞き、調査結果をレポートにまとめています。レポートは広く一般に公表し、経営課題の解決にお役立ていただいています。

大同生命WEBサイト
「大同生命サーベイ」



T&Dフィナンシャル生命

「日本ろう者サッカー協会」と オフィシャルパートナー協定を締結

T&Dフィナンシャル生命は、2018年6月より一般社団法人日本ろう者サッカー協会とオフィシャルパートナー協定を締結しています。ろう者サッカー・フットサル日本代表の活動のサポートや障がい者スポーツの振興を通じて、その発展と普及に貢献しています。



新型コロナウイルス感染症への対応

T&D保険グループでは、新型コロナウイルス感染症への対応として、さまざまな取組みを行っています。一日も早い収束を願い、今後もグループ一丸となって取り組んでいきます。



お客さま

- 保険料払込猶予期間・契約更新手続期間の延長
- 保険金・給付金、契約者貸付金の簡易迅速なお支払い
- 医療機関の事情などにより、自宅その他の施設で治療を受けた場合でも、一定の要件のもと入院給付金をお支払い
- 新型コロナウイルス感染症による死亡の場合、災害死亡保険金をお支払い
- 契約者貸付(新規貸付)の利息免除

従業員

- 従業員の感染防止対策
 - 在宅勤務(テレワーク等)の推進
 - 時差出勤の推進
 - TV・電話会議の活用など
- 営業職員の雇用維持および収入補償

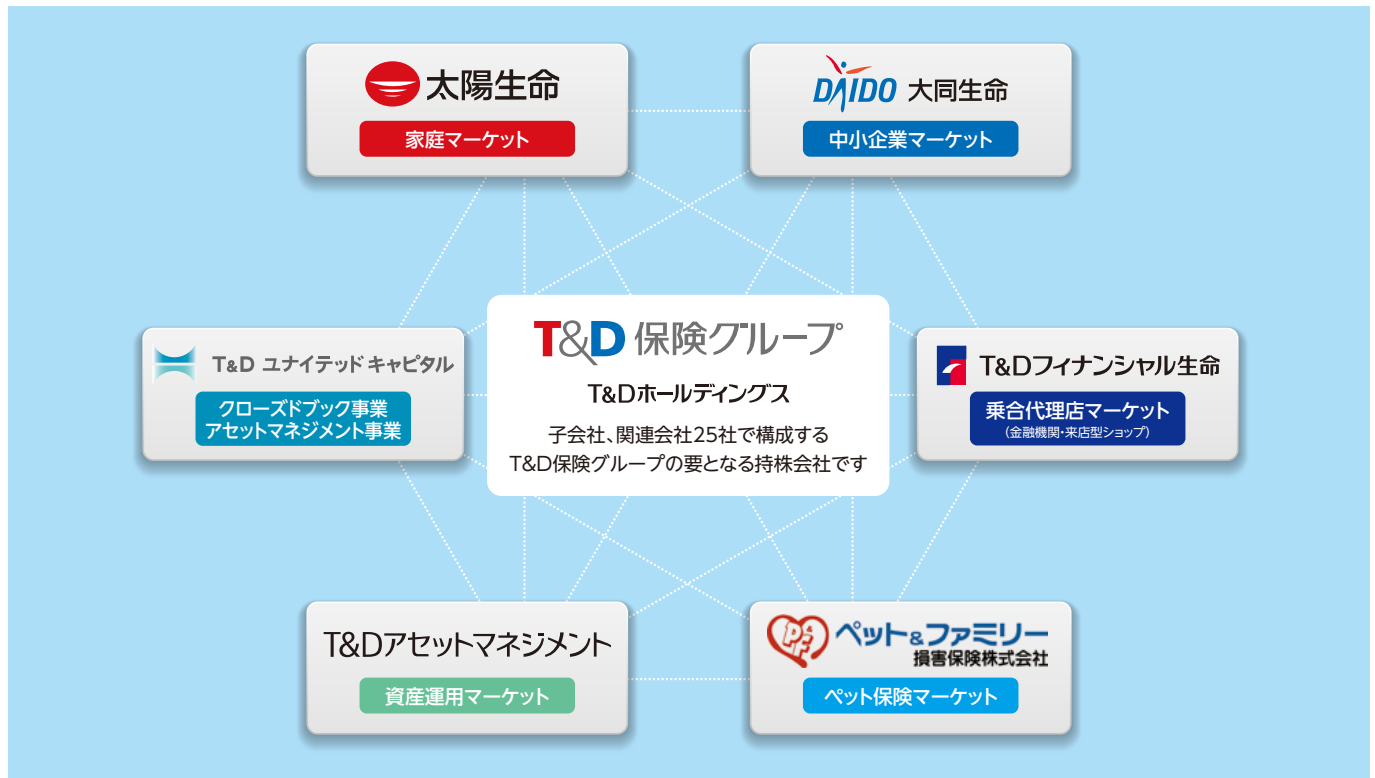
社会

- 社会にとって必須な業務(保険金支払業務、コールセンター業務等)の継続
- 中小企業の雇用安定の支援に向けた「雇用調整助成金」電話相談・社労士紹介サービスを実施(大同生命)
- 感染症対策にご尽力されている医療関係団体等への寄付

(2020年7月1日現在)

組織のプロフィール

T&D保険グループは、持株会社であるT&Dホールディングスのもと、国内生命保険事業をコアに、クローズドブック事業、アセットマネジメント事業、ペット保険事業等から構成される、特徴あるグループです。それぞれのビジネスモデルにおける強み・独自性を最大限発揮し、みなさまの暮らしとビジネスをサポートしています。



2020年7月1日現在

外部よりいただいた評価

ESG評価機関からの評価



MSCI ESG Research logo disclaimer: THE INCLUSION OF T&D Holdings, IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF T&D Holdings, Inc. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES



主な受賞

「健康経営優良法人～ホワイト500～」に太陽生命および大同生命が4年連続で認定。



「プラチナくるみん認定」を生命保険会社3社、T&Dアセットマネジメント、T&D情報システムが取得。



「プラチナキャリア・アワード」優秀賞をT&Dホールディングスが2年連続受賞。



株式会社 T&Dホールディングス

〒103-6031 東京都中央区日本橋2-7-1 TEL:03-3272-6110(代)
https://www.td-holdings.co.jp/ mail:csr@td-holdings.co.jp

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。